甲府市立千代田小学校　学校だより 第６号

千代田

千代田小ブログ2023
左記のQRコードから日々の子供たちの様子がご覧になれます

〒400-0082 山梨県甲府市下帯那町3034-2　TEL055-251-8059 FAX　055-251-8067 E-mail：chiyoda-e@kofu-ymn.ed.jp

令和５年（2023年）１０月６日　　発行責任者　校長　篠原利明

全国学力・学習状況調査における本校の状況について

令和５年度の「全国学力・学習状況調査」は，４月１８日（火）に全国の小学６年生と中学３年生を対象に実施されました。小学校６年生については，国語と算数の２教科で行われました。この調査の目的は児童の学力や学習状況を把握し，その結果を分析することで，県や学校ごとの課題を明らかにすることにより，今後の指導の充実や授業改善等に役立てることです。調査内容は，①教科（国語・算数）に関する調査，②生活習慣や学習環境に関する質問紙調査で構成されています。

千代田小学校でも，今年度の調査結果を分析し，今後の取り組みについてまとめましたのでお知らせします。調査結果は，調査した６年生だけでなく，全学年の指導に役立てていきます。また，ご家庭でのご指導にも役立てていただきたいと思います。

分析結果の概要

１　本校の状況

本校の学力の状況は，正答率において，国語・算数ともに全国平均・県平均を上回る結果となりました。このことは本校の教育活動において，家庭や地域と連携しながら，基礎･基本の定着が図られた結果であり，さらに習得した技能や知識を学校生活や家庭･地域の生活の中で活用する力が身についてきていると考えられます。少人数の本校では，特に個の力に応じた最適な指導が可能なだけでなく，授業時間の中で身につけた力を繰り返し活用する場面が確保でき，全員が必ずアウトプットできる環境が整えられていることも大きな強みとなっていると思われます。

質問紙調査からは，自己肯定感，規範意識は高いこと，安定した環境で生活ができていることが読み取れました。また，千代田地域や社会への関心も高いことが分かりました。また，ICTを活用した学習への関心が高く，学習意欲向上に役立っていることも回答から読み取れました。

２　教科別の結果についての考察と今後の取り組み

教科に関する調査の内容は，次の①と②を一体的に問う問題が出題されています。

①身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等についての問題

②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や様々な課題解決のための構想を立て実践し，評価･改善する力等にかかわる内容の問題

(1)国語

国語は，「話すこと・聞くこと」「読むこと」に関する問題への正答率が，平均を大きく上回る結果でした。「書くこと」については，平均は上回っているものの「図表やグラフを用いて，自分の考えが伝わるように条件に合わせて書く」ことについて課題が見られました。「言語の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」についても平均を大きく上回っていました。全体的には標準以上の力が身に付いていると言えます。

◆今後の取り組み

本校の調査結果や甲府市の調査結果をもとにしながら，次の点について引き続き指導を行ってい

きます。
・説明的文章でいくつかの資料の情報を整理し，適切な内容をつかむことや話の内容に沿った内容で記述する力もついているが，山梨県の傾向として「情報を整理して自分の考えをまとめたり，書き表し方を工夫したりすること」に課題があるので，今後も引き続き文章問題において根拠となる文に線を引いたり，色分けしたりするなど丁寧に扱うとともに，要旨や自分の考えを整理して記述するという活動を行っていきます。また，参考資料から文章を引用したり，グラフや表を活用したりして更に自分の考えが伝わりやすいような書き表し方を工夫することを大切にしながら指導を積み重ねていきます。
・各教科や校外学習などで行うインタビューの場面や学級での話し合いの場において，目的や意図に応じて話の内容を捉え，話し手の考えと比べながら，自分の考えをまとめていくことを大切にした学習活動を積み重ねていきます。
・漢字については，小テストを継続して確かなものにさせていくだけでなく，文章に活用したり，短文づくりに取り組ませたりするなど活用を意識した取り組みを行っていきます。
・日常よく使われる敬語についてはよく理解できていますが，日常生活の具体的な会話の場面を想定し，相手と自分との関係を意識しながら尊敬語と謙譲語について理解していくことが大切です。そのためには，日常生活の様々な場面において，適切に敬語を使うことに慣れるように，学習したことを学校行事や来客時，また家庭や地域の中の様々な機会と関連させて指導をしていきます。
・「おっしゃる」「うかがう」など特別な言葉を使った言い方や「お（ご）～になる」「お（ご）～する」のような言い方があることを理解するとともに，実生活につなげられるように，言葉づかいについての興味関心を広げ，敬語を使おうとする態度を育んでいく活動を取り入れていきます。

(2)算数

算数は，「数と計算」「変化と関係」「図形」は問題への正答率が，平均を大きく上回る結果でした。「データの活用」については，県平均・全国平均をわずかに上回る結果でしたが，「複数のデータ・グラフから読み取る」ことについて等，いくつかの設問で課題が見られました。

◆今後の取り組み

本校の調査結果や甲府市の調査結果をもとにしながら，次の点について引き続き指導を行っていきます。

・基礎的な力は身についているので，これからの新たな学習の定着を図るとともに，なぜそうなるのかという考えを述べるだけでなく，論理的に記述することにも力を入れて指導していきます。
・「数と計算」に関しては，筆算の段階から，図を用いて指導をすることにより，何の位の計算を行っているのかの理解を深めていくことにより，各段階における「商」の意味を子供たちがよく考えて学べるように工夫をしていきます。
・四則計算の優位性や，（　　）を使った式の特徴などに日頃から触れさせていくとともに，問題の解決方法について式や表，言葉を用いて説明できるように指導を積み重ねていきます。一人一台端末等のICTの活用を積極的に行っているが，ノートの丁寧な整理や黒板，ホワイトボードなどを活用した図，式，言語をセットにしたアナログ的な説明方法も授業の中で経験をさせていきます。
・日常生活や様々な教科においてグラフに慣れ親しむ活動を取り入れるとともに，複数の資料を読み取り，その関係性や違いを適切な数や言葉を使って記述する力を高められるような活動を取り入れていきます。
・表の意味を理解したり，表を作成したりする活動を積極的に行っていきます。
・「図形」に関する指導については，図形の持つ意味や性質をもとにしながら，構成する要素に着目し，その図形の特徴について考察し，説明できるように指導をしていきます。
・百分率で表された割合を日常生活や様々な教科の学びでも探し，割合に慣れ親しむ活動を取り入れ，割合の特徴について理解を深めていきます。

3 生活習慣・学習環境等に関する質問紙調査より

本校の児童の学校生活や学習習慣，生活習慣等の状況は次のようでした。

◇全国や県と比較し，良好と思われる項目

〇自分自身・規範意識について

・自分にはよいところがある　・将来の夢や目標を持っている　・学校に行くのは楽しい
・先生はあなたのよいところを認めてくれている　・人の役に立つ人間になりたい
・人が困っているときは進んで助けている　・いじめはどんな理由があってもいけない
・普段の生活の中で幸せな気持ちになることがある
・学級生活をよりよくするために学級会で話し合い，互いの良さを生かして解決方法を決めている

調査結果から自己肯定感や規範意識が高く，将来の夢や目標をもって生活を送っていることがうかがえます。また教員が児童のよいところを認め，励ましながら丁寧に児童の学習や生活に寄り添いながら指導を続けていることもうかがえます。少人数の本校では，学級だけでなく，全校でお互いの良さを認め合い，励まし合いながら学校生活を送っています。学校生活をさらによりよくするために全校で話し合ったり，道徳価値について考えたりする活動も行ってきました。よりよい人間関係づくりは児童が安心して学校生活を送ることができる基盤となります。また，そのことが学習にもよりよい影響を与えます。引き続き「個が生きる，一人一人が主役でかがやく」本校の強みを生かした学習活動を工夫しながら進めていきます。

〇生活習慣・社会への関心について

・学校に行くのは楽しい　・地域や社会をよくするために何かしてみたい
・外国の人と友達になったり，外国のことについてもっと知ったりしてみたい
・日本やあなたが住んでいる地域のことについて外国の人にもっと知ってもらいたい
・家での読書の時間（月～金）は、１時間～２時間程度　・読書が好き

本校の児童は読書が大好きです。質問紙からは，家庭での読書環境も整えられ，読書量も多いことがうかがえます。このことは文章の内容を読み取ったり，語彙の量を増やしたりすることにもつながり，学力・学習調査の結果にも表れています。今後もCAN（千代田アシスタントネットワーク）等の読み聞かせの活動を引き続き推進していくなど，読書に親しむ環境づくりを進めていきたいと思います。また，家庭での読書や学年に応じた本の選び方も引き続き指導をしていきます。

地域や社会，外国のことにも関心が高いことが分かります。外国語の学習を通して，国際的な興味・関心が高まっていることがうかがえます。また，地域学習や千代田荘との交流活動等を通して，地域への行事への興味や地域貢献への関心も高まっていることがうかがえます。引き続き，学校運営協議会や千代田地区の関係諸団体とのつながりを大切にしながら，参加についての啓発活動を推進し，地域社会を誇りに思う心や地域とともに学習する基盤を整えていきたいと考えています。

〇授業や教科（国語・算数）に対する関心・意欲・態度について

・授業で学んだことを他の学習で生かしている
・国語の勉強は，「好き」で「大切だと思い」「内容がよくわかる」「将来，社会に出たとき役に立つ」と考えている。
・国語の授業で，言葉には相手との好ましい関係をつくる働きがあることについて学んでいる。
・算数の勉強は，「大切」だと思い，「将来役に立つ」「内容がよくわかる」と考えている。
・将来積極的に英語を使うような生活をしたり，職業に就いたりしてみたい。
・道徳の授業では，自分の考えを深めたり，学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。
・自分の考えを発表する機会では，自分の考えがうまく伝わるよう，資料や文章，話の組み立てなどを工夫して発表している。
・授業でPC・タブレットなどのICT機器を「週3回以上～ほぼ毎日」使用している。
・学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強に役立っている。
・学級の友達との間で話し合う活動を通じて，自分の考えを深めたり，広げたりする。
・話し合う活動を通じて，考えを深めたり，広げたりすることができている。

授業では話し合ったり，発表したり，様々な学習形態の中で友達と学び合うことが自分の考えを深めたり，広げたりすることにつながっている様子がうかがえます。また，「授業でPC・タブレットなどのICT機器をどの程度しようしているか」については，県平均・全国平均を大きく上回っています。GIGAスクール構想による一人一台端末の普及と共に，児童にも端末を学習に使用する有効性が実感として定着をしていることがうかがえます。今後も教科学習の目的に合った有効的な活用方法について研修を重ねながら指導に生かしていきたいと思います。

学校行事や児童会の活動を通して実践してきた家庭や地域との連携の成果もうかがわれます。一人一人の自主性，積極性をさらに高められるように，言語活動を大切にしながら，主体的，対話的で深い学びを目指した授業改善を引き続き行っていきます。また今後も授業において，児童自身が学習課題をしっかりと意識し，自主的な学びができるように，学習の見通しをもって授業に取り組み，学習内容をふり返る過程を重視した実践を継続していきます。

◆全国や県と比較し，課題と思われる項目

○家庭学習について

・学校の授業時間以外に，普段（月曜日～金曜日）一日どれくらいの時間勉強をしていますか。
・土曜日や日曜日などの学校が休みの日に一日あたりどれくらい勉強をしていますか。

今年度８月２８日付け通知「学校管理下における熱中症対策について（お願い）」において，次のお願いをご家庭にしました。

○この期間（7/10～9/30），学校からの宿題を減じ，子供たちの自主学習に切り替えます。

・自主学習の仕方は「家庭学習の手引き」をもとに学校でも指導をしますが，子供の実態に合った主体的な学びを行うようにさせます。子供たち中心に，子供たちが主体的に取り組める方法に切り替えます。特に金曜日は完全ノー宿題デーとします。週末は子供たちがやりたいことに取り組むなどリラックスできるようにしてください。月曜日にリフレッシュして登校し，新しい目標をもって一週間学校での学びに取り組むようにしたいと思います。
・子供たちが朝から生き生きと学校生活が送れるように，家庭では，健康的な生活習慣で過ごせますよう引き続きご協力をお願いします。特に次の点についてよろしくお願いします。
○ゲーム・スマホから離れた生活をする。
○十分な睡眠をとる。
○朝食をしっかりととる。

上記の内容については本校の児童にとってとても大切なことと考えます。したがって引き続き取り組みを継続していきます。質問紙からは本校児童の家庭学習時間が全国平均や県平均に比べて，短い傾向が見られますが，家庭学習が子供たちの主体的に行う学び（自主学習）となるように学校でも引き続き工夫をしていきたいと思いますので，保護者の皆様のご理解とご協力を願い致します。家庭と学校が連携をしながら児童にとって最適な学びとなり，基礎･基本の定着と学力向上につなげていきたいと考えます。なお，学習の中で積極的に活用をしている一人一台端末も家庭に持ち帰り，特にeライブラリを有効活用します。このeライブラリの難易度は児童が自ら選択をするようにしていますが，児童の授業での学びの様子や理解状況を担任が把握をして個人にあった課題を与える場合もあります。基礎学力の定着と共に学習意欲向上と主体的に学び，自ら学びを深める児童の育成を目指して引き続き取り組んでいきます。

ご家庭の皆様へ

前回の学校だよりで，本校の教員が少人数の強みを生かした「一人一人が主役」となるような場面設定を作りながら授業づくりをしていることや千代田小学校の先生方の授業には，発問（子供たちへの言葉かけ）や教材・教具・ICTの活用など子供たちが意見を言いたくなる，やってみたくなるような工夫が見られることを紹介しました。本校教員は子供たち全員主役の全員が活躍する授業をしたいという願いを持ち，今後も子供たちとともに学び，子供からも学ぶ姿勢で成長をしていきたいと考えています。「学ぶことが楽しい」「運動することが楽しい」「友達と遊ぶことが楽しい」「一緒に行事を創り上げることが楽しい」と思えるような子供たちに育てていきたいと思います。引き続き，充実した教育活動を行っていけるように，家庭・地域・学校が一つになって取り組んでいきましょう。今後とも学校教育への変わらぬご理解とご協力をお願い致します。